



3年学年だより

発行日:令和5年12月25日(月)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO.8

国際平和講演会@横浜市役所アトリウム

校長代理

中澤 務

12月2日(土)に横浜市役所アトリウムで国際平和講演会が行われました。国際協力の現場に長年従事してこられた戸田隆夫さん、ルワンダの内戦を経験した永遠瑠(とわり)マリールイズさんの講演があり、そのあと、南高附属中の生徒5名と、平和学習に取り組む南中学校の生徒4名が、「未来のために私たちができること」を伝え合いました。

南高附属中の総合的な学習の時間“EGG”では、「世界を幸せにする第一歩」を学習のスタート地点にしています。世界で起きていることを知って、自分たちができることを探そうとしている2校の中学生の姿を講演会場で目の当たりにし、胸が熱くなる思いがしました。今回は登壇した南高附属中生徒の皆さんが当日語ったことを紹介します。



■■■■さん 自分の原動力は「目立ちたい」という思い。自分が目立つことでできることがあると思う。今回平和についてしっかりと考える機会になった。歴史上のことを知ることができた。知らなければどうしようもないこと。知ったことをすぐ誰かに伝えていきたいと思う。

■■■■さん 私は世界中に友達をいっぱいくりたいと思っている。そのため学校では英語の学習に力を入れて取り組んでいる。今回も、講演会が始まる前に、一緒に参加する南中学校の生徒と話し、友達になることができた。おいしい食べ物のことなど友達と話したい。戦争のある国の人も話をしてみたい。みんなで楽しく話すことができれば世界が平和になるんじゃないかと思う。

■■■■さん いい未来をつくるために一人ひとりが課題に向き合う必要がある。戦争や虐殺など、世界の課題をできる限り多く知る必要があると思うが、世界中に課題は山積みであり、そのすべてに取り組むことはできない。自分が向き合うことができる課題を見つけ、解決の活動に参加したいと思う。

■■■■さん 世界には教育を受けられない人がたくさんいることを社会の授業で学んだ。紛争地域の人々は安心して眠ることもできない。先日まで学校では定期テストがあり、大変だなと思っていたが、今日のお話から、教育は未来を切り開く扉であること、問いを立てることの大切さを学び、改めて勉強をしっかりとしたいと思った。また、出会いがすべてを変えるというお話もあった。平和は一人ではできないからみんなで協力する。友達を大切にしようと思う。平和について自分ごととして行動したい。

■■■■さん 私は食べるのが好き。食べることを話題にできる幸せを感じている。世界には満足に食べることができない人がたくさんいる。まず自分が幸せであることをかみしめて生きようと思う。飢餓について、自分は経験していないので実感することができないが、もっと深く知ることによって100%理解することに近づけるのではないかと。分けても減らないものは何か、という問いがあったが、私は笑顔や幸せは分けても減るものではなく、むしろ倍増するものだと思っている。

国際理解講座『チェンジ・メーカーになろう！』

12月16日の土曜 EGG で、横浜市立大学の上村雄彦先生による国際理解講座が南高ホールにて行われました。「このままでいくと2050年に本当に人類が生存危機に陥る。そうなるとしたら、君たちはどう生きるか？」上村先生から投げかけられたこの問いにあなたはどのように考えましたか？今私たちは技術の急激な進歩によって豊かな暮らしができてきている反面、地球規模の様々な問題を抱えていることを改めて考えさせられましたね。



ペアで話し合いもしました

グローバル・タックスと世界政府のほか

にも解決策はあるのかもしれませんが。10期生のみなさんは、これらの問題の原因を見つけ、根本から解決するチェンジ・メーカーになれると信じています。講座終了後には振り返りを書いてもらいました。



3期生の須之内さんも来てくれました

国際開発講座振り返り ※紙面の都合上一部抜粋しています。

○今までの EGG でも物事を多角的な視点で捉えることを大切にしてきたので、視点を高いところから持つことはこれからも心がけたいと思う。上村先生の提唱する「三本の矢」を実現することは難しいし、課題はずっとなくなることはないだろう。しかし、「世界の 3.5%の意識を変えることで世界を変えることができる。」これが解決の糸口になるのではと思う。将来、どういう形であれ、多くの人に現状を知ってもらえるような行動をしたい。未来を創る一員としての自覚をもち、自分の役割を見つけたい。(1組：■■■■)

○「高いところから見ることで、抽象度を上げる」という言葉が最も印象に残った。問題の根幹は社会の仕組みだと見抜き、その現行の制度や構造に懐疑的になるだけでなく、具体的な解決策を提示するところに創造(想像)力を感じた。「今の世界はダメだ」と批判するだけでなく、今までにないアプローチで解決策を提唱することは凄いことだと思った。今まで、このような考えや行動をできる人は、自分とは、かけ離れた能力や心をもっているものだと思いついていた。自分にとって最も価値があると感じたことは、自分も上村先生のようになることができると学べたことだ。「なれる」ではなく、「ならないといけない」のかもしれない。(2組：■■■■)

○今までも、このような問題について考える機会はありましたが、毎回、結論としては「私たちにできること」という考えだったので、問題の根幹に迫る視点が新しくなりました。実際に活動している人たちがいることも分かったので、私も協力できないか興味を沸きました。また、換金作物についての話があって、ちょうど私の卒論とテーマが同じでしたので、個人的にお勧めの本を聞くことができ良かったです。「今だけ、金だけ、自分だけ」を優先するのではなく、世界を抽象視して、問題改善に携わる人になりたいです。(3組：■■■■)

○「戦争」とか「地球温暖化」とか私たちは日常的に聞いていたけれど、その中身を今回詳しく知れた。2050年には地球の気温が3.0度上がると聞いた時は驚きとともに、今まで軽く捉え過ぎていたと感じた。

今回の話で特に記憶に残ったことがある。食料自給率の話で日本は自給率が各国と比べて低く、輸入に頼っている。それは「貧しい人々から食料を奪っている」とも言えるということだ。貧困国では輸出用の換金作物を作っていて、満足に食べられていない。その分は私たちに届けられている。他国の目線で考えたことがなかったので日本の今の状況にショックを感じた。世界のために何ができると考えて行動する上村先生はすごいと思った。課題が山積みだからこそ、自分に何ができるとを改めて考えていきたい。(4組：■■■■)

10期生がんばりました！

12月25日(月)の2学期終業式で表彰された皆さんです。

氏名 / 団体	表彰内容 (大会名等)
2組	第56回公募竹青社書展 横浜市長賞 (第1位)
4組	第56回公募竹青社書展 神奈川新聞社賞 (第8位)
4組	第47回学芸書道全国展硯心会 (けんしんかい) 理事長賞
4組	税についての作文コンクール 東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞
3組	横浜市立中学校作文コンクール 優秀
1組	神奈川県中学校英語弁論大会 神奈川県予選出場
3組	中学校生徒英語弁論大会 本選出場 (第6位)
1組	体育活動優秀生徒
3組	体育活動優秀生徒
2組	JOC ジュニアオリンピック全国都道府県対抗バレーボール大会 県代表に選出
4組	横浜市民スポーツ大会 段違い平行棒 優勝 神奈川県中学校総合体育大会 平均台 第4位、跳馬 第5位、個人総合 第9位
ハンドボール部	横浜市総合体育大会 第5位

令和5年度 横浜市学力・学習状況調査 結果

横浜市の全学年を対象として4月27日(木)に実施された令和5年度横浜市学力・学習状況調査の結果をお知らせします。グラフの上段が本校、下段が横浜市の平均です。

※学力層 B:おおむね満足 学力層 A:優れている

【社会】



【国語】



【理科】



【数学】



【外国語】



姫のひとりごと

今年もまとめの時期になりました。個人面談では、一人一人の成長の軌跡を、担任の先生や保護者の方と一緒に振り返り、これからの展望と課題を確認するよい機会になりました。

来年は今年以上に飛躍の年にしましょう。みんなが意識し、行動していくことが何よりも大切です。